



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

会社名 株式会社 西京銀行
 代表者 取締役頭取 渡邊 孝夫
 問合せ先責任者 専務取締役経営企画本部長 平岡 英雄
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

URL <http://www.saikyobank.co.jp/>
 TEL (0834)31-1211 (代表)
 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1)連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,506	6.4	295	△0.3	392	185.5
21年3月期第1四半期	5,174	—	296	—	137	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第1四半期	4	42	—	—
21年3月期第1四半期	1	54	—	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年3月期第1四半期	736,584	23,025	3.1	227	07
21年3月期	733,466	20,770	2.8	200	94

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 22,933百万円 21年3月期 20,688百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	円 銭 — —	円 銭 0 00	円 銭 — —	円 銭 5 00	円 銭 5 00
22年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
22年3月期(予想)	— —	0 00	— —	5 00	5 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	9,100	△12.5	500	27.2	300	170.3	3	01
通期	18,600	△14.0	1,700	64.1	900	△35.7	10	02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

〔（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更： 無

② ①以外の変更： 無

〔（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4)発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第1四半期 88,845,000株 21年3月期 88,845,000株

②期末自己株式数 22年3月期第1四半期 91,527株 21年3月期 90,795株

③期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第1四半期 88,753,792株 21年3月期第1四半期 88,760,811株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
第一種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	— —	— —	— —	26 35	26 35
22年3月期	— —				
22年3月期(予想)		— —	— —	35 00	35 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無： 無

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国の景気は、下げ止まりつつあります。企業収益や雇用・所得環境が厳しさを増し、国内民間需要は弱まっている一方、輸出・生産は内外の在庫調整圧力の減衰から持ち直しに転じつつあるほか、公共投資も増加傾向にあります。当面はこうした景気下げ止まりの動きが明確になっていく可能性があるものの、国際的な金融経済情勢、中長期的な成長期待の動向、国内の金融環境などのリスク要因が、景気を下押しする可能性もあります。

当行グループの主たる経営基盤であります山口県においても、輸出・生産は在庫調整の進展などから化学等の主要産業で減産幅が縮小し、景気は下げ止まりつつあるものの、企業収益の減少幅が拡大する中、設備投資は先行き大幅な減少が見込まれる状況にあります。雇用・所得面は有効求人倍率の低下やボーナスの大幅減など厳しい環境が続く、個人消費では衣料品、高額商品を中心に全体で見ると弱めの動きが続いているため、景況感は引続き厳しい情勢にあります。

このような環境において、当第1四半期の業績は以下のとおりであります。

連結経常収益は、前年同期比3億32百万円(6.42%)増加して55億6百万円となりました。主な要因としましては、その他経常収益が3億10百万円増加したことによるものです。

また、連結経常費用は、前年同期比3億33百万円(6.83%)増加して52億10百万円となりました。主な要因としましては、営業経費が1億11百万円減少しましたが、その他経常費用が4億63百万円増加したことによるものです。

以上のことから、連結経常利益は、前年同期比0百万円(0.32%)減少して2億95百万円となり、増収減益となりました。また、四半期純利益は前年同期比2億55百万円(185.52%)増加して3億92百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における財政状態は、預金につきましては、個人向け定期預金商品「バルーン定期」「ジャンプ定期」等の推進により、前連結会計年度末より39億円(0.56%)増加して6,934億円となりました。

貸出金につきましては、個人のお客様向けには、ローンセンターの機能強化により、当第1四半期においても住宅ローン及び消費者ローン等を積極的に販売し、事業性貸出に関しましては、地公体向け等に注力した結果、全体として前連結会計年度末より24億円(0.46%)増加して5,274億円となりました。

有価証券につきましては、前連結会計年度末より149億円(11.41%)増加して1,455億円となりました。

以上を主因に、当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末より31億円(0.42%)増加して7,365億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(貸倒引当金の計上方法)

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成21年3月期の予想損失率を適用して計上しております。(繰延税金資産の回収可能性の判断)

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	34,214	46,198
コールローン及び買入手形	—	304
買入金銭債権	9,573	9,689
商品有価証券	41	41
有価証券	145,532	130,626
貸出金	527,473	525,050
外国為替	499	217
その他資産	5,841	9,379
有形固定資産	11,148	11,031
無形固定資産	1,177	1,243
繰延税金資産	7,016	7,115
支払承諾見返	2,139	2,198
貸倒引当金	△8,074	△9,633
資産の部合計	736,584	733,466
負債の部		
預金	693,480	689,553
譲渡性預金	770	—
借入金	3,000	3,000
外国為替	—	7
社債	5,000	5,000
その他負債	5,300	9,043
役員賞与引当金	—	1
退職給付引当金	1,973	1,946
役員退職慰労引当金	61	108
睡眠預金払戻損失引当金	19	30
利息返還損失引当金	98	98
偶発損失引当金	73	65
ポイント引当金	8	7
再評価に係る繰延税金負債	1,633	1,633
支払承諾	2,139	2,198
負債の部合計	713,559	712,695
純資産の部		
資本金	12,690	12,690
資本剰余金	10,300	10,300
利益剰余金	5,010	5,135
自己株式	△31	△31
株主資本合計	27,970	28,094
その他有価証券評価差額金	△6,826	△9,159
繰延ヘッジ損益	50	13
土地再評価差額金	1,739	1,739
評価・換算差額等合計	△5,036	△7,406
少数株主持分	91	81
純資産の部合計	23,025	20,770
負債及び純資産の部合計	736,584	733,466

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	5,174	5,506
資金運用収益	3,733	3,713
(うち貸出金利息)	3,283	3,413
(うち有価証券利息配当金)	360	244
役務取引等収益	653	616
その他業務収益	48	127
その他経常収益	739	1,049
経常費用	4,877	5,210
資金調達費用	783	683
(うち預金利息)	639	537
役務取引等費用	439	496
その他業務費用	99	123
営業経費	2,722	2,611
その他経常費用	832	1,295
経常利益	296	295
特別利益	27	365
特別損失	6	8
税金等調整前四半期純利益	317	652
法人税、住民税及び事業税	66	11
法人税等調整額	112	248
法人税等合計	178	260
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△0
四半期純利益	137	392

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	317	652
減価償却費	179	180
減損損失	—	5
貸倒引当金の増減(△)	△357	△1,558
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△54	△46
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△15	△10
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△1	—
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	22	7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1	0
資金運用収益	△3,733	△3,713
資金調達費用	783	683
有価証券関係損益(△)	59	111
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	0	—
為替差損益(△は益)	28	△1
固定資産処分損益(△は益)	△20	3
貸出金の純増(△)減	△10,153	△2,422
預金の純増減(△)	6,144	3,926
譲渡性預金の純増減(△)	3,710	770
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△629	△177
コールローン等の純増(△)減	△395	307
外国為替(資産)の純増(△)減	△16	△258
外国為替(負債)の純増減(△)	△0	△7
資金運用による収入	2,851	3,640
資金調達による支出	△490	△589
その他	△1,935	△821
小計	△3,700	708
法人税等の支払額	△141	△45
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,841	662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△19,740	△44,776
有価証券の売却による収入	14,386	22,086
有価証券の償還による収入	2,503	10,249
金銭の信託の減少による収入	3	—
有形固定資産の取得による支出	△35	△231
有形固定資産の売却による収入	60	—
無形固定資産の取得による支出	△12	△8
子会社株式の売却による収入	—	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,834	△12,305

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,780	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	—	△517
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,779	△517
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,897	△12,160
現金及び現金同等物の期首残高	54,715	45,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,818	33,677

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	銀行業 (百万円)	その他の事 業(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常 収益	5,069	104	5,174	—	5,174
(2) セグメント間の内部経 常収益	8	167	176	(176)	—
計	5,078	271	5,350	(176)	5,174
経常利益	273	126	400	(103)	296

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	銀行業 (百万円)	その他の事 業(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常 収益	5,432	74	5,506	—	5,506
(2) セグメント間の内部経 常収益	6	59	65	(65)	—
計	5,438	133	5,572	(65)	5,506
経常利益(△は経常損失)	312	△16	296	(0)	295

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 各事業の主な内容は次のとおりであります。

(1) 銀行業……………銀行業務

(2) その他の事業……クレジットカード、事務受託、ベンチャーキャピタル、コンサルティング、債権管理回
収業務

[所在地別セグメント情報]

連結会社は本邦でのみ事業を営んでいるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	34,205	46,191
コールローン	—	304
買入金銭債権	9,520	9,633
商品有価証券	41	41
有価証券	145,772	130,879
貸出金	527,716	525,272
外国為替	499	217
その他資産	5,229	8,720
有形固定資産	11,138	11,027
無形固定資産	1,159	1,225
繰延税金資産	6,939	7,039
支払承諾見返	2,139	2,198
貸倒引当金	△ 7,881	△ 9,443
資産の部合計	736,479	733,308
負債の部		
預金	693,858	689,938
譲渡性預金	770	—
借入金	3,000	3,000
外国為替	—	7
社債	5,000	5,000
その他負債	5,032	8,723
退職給付引当金	1,973	1,946
役員退職慰労引当金	61	108
睡眠預金払戻損失引当金	19	30
偶発損失引当金	73	65
再評価に係る繰延税金負債	1,633	1,633
支払承諾	2,139	2,198
負債の部合計	713,562	712,653
純資産の部		
資本金	12,690	12,690
資本剰余金	10,300	10,300
利益剰余金	4,995	5,103
自己株式	△ 31	△ 31
株主資本合計	27,954	28,062
その他有価証券評価差額金	△ 6,826	△ 9,159
繰延ヘッジ損益	50	13
土地再評価差額金	1,739	1,739
評価・換算差額等合計	△ 5,036	△ 7,406
純資産の部合計	22,917	20,655
負債及び純資産の部合計	736,479	733,308

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
経常収益	5,078	5,438
資金運用収益	3,694	3,684
(うち貸出金利息)	3,259	3,391
(うち有価証券利息配当金)	358	242
役務取引等収益	602	581
その他業務収益	41	123
その他経常収益	739	1,049
経常費用	4,805	5,126
資金調達費用	783	683
(うち預金利息)	640	537
役務取引等費用	416	477
その他業務費用	99	123
営業経費	2,687	2,561
その他経常費用	817	1,279
経常利益	273	312
特別利益	27	362
特別損失	6	8
税引前四半期純利益	294	665
法人税、住民税及び事業税	7	8
法人税等調整額	112	248
法人税等合計	119	256
四半期純利益	174	409

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

平成22年3月期第1四半期財務情報 説明資料

当行の平成22年3月期第1四半期（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）における四半期情報についてお知らせします。

なお、以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

1. 平成22年3月期第1四半期の業績

【単体】	平成22年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)		前年同四半期比	平成21年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)		(参考) (単位：百万円) 通期予想計数 (平成22年3月期) 18,200
	(単位：百万円)			(単位：百万円)		
経常収益	5,438	360		5,078		
業務粗利益	3,104	64		3,039		
資金利益	3,000	89		2,911		
役務取引等利益	104	△ 82		186		
その他業務利益	△ 0	56		△ 57		
国債等債券損益	(21)	(16)		(4)		
経費(除く臨時処理分)	2,494	△ 131		2,626		
一般貸倒引当金繰入額	△ 142	△ 168		25		
業務純益	752	364		387		
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	609	196		413		
コア業務純益(除く国債等債券損益)	588	179		409		
臨時損益	△ 440	△ 325		△ 114		
不良債権処理額	216	241		△ 24		
個別貸倒引当金繰入額	216	241		△ 24		
株式等関係損益	△ 132	△ 69		△ 62		
経常利益	312	38		273	1,700	
特別損益	353	332		21		
減損損失	5	5		-		
税引前四半期純利益	665	371		294		
法人税、住民税及び事業税	8	1		7		
法人税等調整額	248	135		112		
四半期純利益	409	234		174	900	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(連結)

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成21年6月末	平成20年6月末	平成21年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	105	108	105
危険債権	85	126	106
要管理債権	10	33	11

(注) 1. 記載の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づき、単位未満を四捨五入しております。

2. 上記の平成21年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

また、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、当行が保有する債権において、取立不能見込額として認められる部分については、直接償却相当額として当該金額から直接減額しております。

3. 自己資本比率(国内基準)

	平成21年6月末	平成21年9月末 (予想値)	(参考) 平成21年3月末 (実績)
連結自己資本比率	11.62%	11.3%程度	11.26%
連結Tier1比率	8.16%	7.9%程度	7.86%

	平成21年6月末	平成21年9月末 (予想値)	(参考) 平成21年3月末 (実績)
単体自己資本比率	11.62%	11.3%程度	11.26%
単体Tier1比率	8.15%	7.9%程度	7.85%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（連結）

○評価差額

	平成21年6月末			平成20年6月末			平成21年3月末（実績）		
	取得原価	帳簿価額	評価差額	取得原価	帳簿価額	評価差額	取得原価	帳簿価額	評価差額
その他有価証券	1,432	1,355	△ 77	1,173	1,084	△ 89	1,305	1,206	△ 98
株式	153	108	△ 45	140	106	△ 33	147	93	△ 54
債券	958	966	8	693	662	△ 31	866	863	△ 3
外国債券	10	9	△ 0	52	52	0	10	9	△ 0
その他	310	270	△ 40	286	262	△ 24	281	240	△ 41

（注）満期保有目的の債券、子会社・関連会社に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成21年6月末			平成20年6月末			平成21年3月末（実績）		
	帳簿価額	時価	差額	帳簿価額	時価	差額	帳簿価額	時価	差額
満期保有目的の債券	62	49	△ 13	73	63	△ 9	62	51	△ 11
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—

5. デリバティブ取引（連結）

(1) 金利関連取引

区分	種類	平成21年6月末			平成20年6月末			平成21年3月末（実績）		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	—————	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	金利スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	平成21年6月末			平成20年6月末			平成21年3月末（実績）		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	13	13	△ 0	62	63	△ 0	10	10	0
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3)株式関連取引
該当ありません。

(4)債券関連取引
該当ありません。

(5)商品関連取引
該当ありません。

(6)その他
該当ありません。

6. 預金、貸出金の残高（単体）

○預金残高

（単位：億円）

	平成21年6月末	平成20年6月末
預金残高（譲渡性預金を除く）	6,938	6,948
うち個人預金	5,636	5,650

（参考）

（単位：億円）

平成21年3月末
6,899
5,539

○貸出金残高

（単位：億円）

	平成21年6月末	平成20年6月末
貸出金残高	5,277	5,400
うち消費者ローン	1,711	1,514
うち住宅ローン	1,445	1,308

（参考）

（単位：億円）

平成21年3月末
5,252
1,678
1,415

○預り資産残高

（単位：億円）

	平成21年6月末	平成20年6月末
預り資産残高	907	954
投資信託	346	444
公共債	128	105
個人年金保険	432	404

（参考）

（単位：億円）

平成21年3月末
878
323
127
426

7. 自己資本の充実の状況

■自己資本の構成に関する事項

自己資本比率は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）」に定められた算出に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。

なお、当行は、国内基準を適用のうえ、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を採用しております。

【連結】

(単位：百万円)

	平成21年6月末	平成20年6月末	(参考) 平成21年3月末
(1) 基本的項目 (Tier 1)	27,416	17,345	27,025
(2) 補完的項目 (Tier 2)	11,616	11,794	11,664
(イ) うち自己資本に計上された再評価差額	1,517	1,655	1,517
(ロ) うち負債性資本調達手段等	8,000	8,000	8,000
不算入額 (△)	—	—	—
(3) 控除項目	—	8	—
(自己資本控除とされる証券化エクスポージャー)	—	8	—
(4) 自己資本額 (1) + (2) - (3)	39,033	29,131	38,690
(5) リスクアセット	335,752	342,280	343,450
(6) 自己資本比率 (%)	11.62	8.51	11.26
(7) 基本的項目比率 (%)	8.16	5.06	7.86

【単体】

(単位：百万円)

	平成21年6月末	平成20年6月末	(参考) 平成21年3月末
(1) 基本的項目 (Tier 1)	27,309	17,228	26,911
(2) 補完的項目 (Tier 2)	11,610	11,786	11,658
(イ) うち自己資本に計上された再評価差額	1,517	1,655	1,517
(ロ) うち負債性資本調達手段等	8,000	8,000	8,000
不算入額 (△)	—	—	—
(3) 控除項目	—	8	—
(自己資本控除とされる証券化エクスポージャー)	—	8	—
(4) 自己資本額 (1) + (2) - (3)	38,920	29,006	38,570
(5) リスクアセット	334,869	341,001	342,531
(6) 自己資本比率 (%)	11.62	8.50	11.26
(7) 基本的項目比率 (%)	8.15	5.05	7.85

■自己資本の充実度に関する事項

【連結】

(単位：百万円)

	平成21年6月末		平成20年6月末		(参考) 平成21年3月末	
	リスク・アセット	所要自己資本の額	リスク・アセット	所要自己資本の額	リスク・アセット	所要自己資本の額
(1)信用リスク	307,271	12,290	307,859	12,314	314,968	12,598
オン・バランス項目	296,486	11,859	295,681	11,827	302,583	12,103
オフ・バランス項目	10,784	431	12,178	487	12,385	495
(2)オペレーショナル・リスク	28,481	1,139	34,421	1,376	28,481	1,139
(3)合計 (1)+(2)	335,752	13,430	342,280	13,691	343,450	13,738

【単体】

(単位：百万円)

	平成21年6月末		平成20年6月末		(参考) 平成21年3月末	
	リスク・アセット	所要自己資本の額	リスク・アセット	所要自己資本の額	リスク・アセット	所要自己資本の額
(1)信用リスク	307,360	12,294	307,904	12,316	315,021	12,600
オン・バランス項目	296,575	11,863	295,726	11,829	302,635	12,105
オフ・バランス項目	10,784	431	12,178	487	12,385	495
(2)オペレーショナル・リスク	27,509	1,100	33,096	1,323	27,509	1,100
(3)合計 (1)+(2)	334,869	13,394	341,001	13,640	342,531	13,701

以 上